

佐賀県学力調査！



未来への展望！新たなるステップへ！

昨年12月、4年生以上の児童を対象とした、佐賀県の学力調査が実施されました。結果は、どの学年も大健闘、特に6年生の健闘ぶりが光り、6年間の集大成を体現してくれました。「本校は、上学年になればなるほど伸びていく！」これは私の持論。いや、そう信じていますというのが正直なところですが…。

この好結果に満足することなく、更に子どもたちの能力を引き出していくために必要なことは何か、改めて考えてみました。そして導き出した答えが以下の5点です。

- 安心して学び合える学級集団づくりの推進
- 好奇心を喚ぶ楽しい授業、分かる授業の徹底
- 低学年からの宿題の定着
- 中学年以上の自主学習の質の向上
- やればできる！ やってやろう！ という、自主・自発のムードの醸成

今、正に受験シーズン。目標を定める力や諦めず粘り強く学ぶ力を育てる！道を切り拓いていくのは自分自身。最後はここに帰着するのかな。そのためにも今、学び方を学ぶ訓練を！

子育てヒント集！こぼれ話Vol.2

去る1月12日(水)、世界体操6連覇と、体操の世界を牽引してきた内村航平さんが引退を表明しました。“もう世界の練習はできない”会見で語った、理由もまた心動かされる物でした。考えてみれば、彼も、いきなり大人になったわけではありません。誰もが通った子ども時代があったはず。その母、周子さんは、子育ての中で大事にしていたことを、次のように語っています。

何でも手を差しのぼすのではなく、見守る勇気を

何事も極端であってはいけないと思いますが、いつまでも保護するのではなく、親の立場で見守り、見つめ、陰から応援していくような姿勢を忘れてはならないのでは。

“保護者 ⇒ 親”へ この意識の転換が、より良き子育てへのヒントではと思っています。

繋がることは何よりの喜び！

本校4年生児童の“佐賀市エコプラザ見学”後のまとめが、佐賀新聞の“子ども佐賀新聞”に掲載されたのは昨年11月14日のこと。それだけでも嬉しかったのに、その記事を読んでくださった方が、“子ども佐賀新聞を読んで”というテーマで、ご自身の思いを、子どもたちの感想や意見に重ねた内容で投稿されていました。

「紙一枚でもごみとして出すか、リサイクルとして出すかは大違い。小学生の訴えに感謝」と。

この話を耳にしたのは、冬休み中のことだったので、子どもたちに還元することはできませんでしたが、年が明けてすぐ担任から伝えてもらいました。子どもたちの喜びは、如何ほどだったことでしょう。自分達の学びが、ある方の心を動かしたのですからね♡

なお、これには続きがありまして、1月23日付、子ども佐賀新聞に、総合学習の中で“パラリンピック”についてまとめた記事(今回は9名の児童の作品)が掲載されました。今度はどんな反響があるのかな？考えただけでワクワクします。この一連の取組に、学ぶ楽しさを引き出すヒントがあるなと感じた冬の一日でした。



神埼・ふるさと学習

神崎市教育の柱の一つに、“ふるさと学習”があります。今年もこのふるさと学習に3年生が総合学習で取り組み、まとめる活動をしました。

どの作品も想いのこもった力作でしたが、特に優秀だった作品の選出が行われ、“優秀子ども学芸員”として、下記の2人が認定されました。

- ☆西村一星「すごいぞ！！日本赤十字社！！」
 - ☆坂本颯「自まんの昔の佐賀で知られざる人」
- 入賞、おめでとう(*o*)！よく頑張ったね！

